

学修単位様式

科目名	文化財保存論	英語科目名	Conservation of Cultural Assets	
開講年度・学期	平成27年度前期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻(建築学コース)1年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2	単位種類	学修(15+30)h	
担当教員	豊川斎赫	居室(もしくは所属)	建築学科棟2階	
電話	内線 834	E-mail	toyokawa-s@小山高専ドメイン	
授業の到達目標		授業達成目標との対応		
		小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件
1 文化財保護, 建築再生の概要が説明できる		④	A	d-1
2 歴史的市街地、都市景観計画の諸制度について説明出来る。		④	A	d-1
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標 1、2について口頭発表および提出レポートの内容を設定水準で評価する。				
評価方法				
評価は下記2項目。授業時に提示するレポート(30%) + 最終成果物(70%)。定期試験は行わない。				
授業内容		授業内容に対する 自学自習項目	自学自習時間	
(1) オリエンテーション		授業時に配布する資料の精読。	4	
(2) 制度的視点 その1: 伝建地区制度の経緯とその概要			4	
(3) 制度的視点 その2: 現状に於ける制度的問題			4	
(4) 工学的視点 その1: 伝建における防火対策と調査手法			4	
(5) 工学的視点 その2: 伝建における耐震対策と調査手法			4	
(6) 実際の伝建地区における見学実習 その1			4	
(7) 実際の伝建地区における見学実習 その2			4	
(8) 社会学的視点その1: 文化財エスノグラフィー(祭と防災の担い手)			4	
(9) 社会学的視点その2: クロスロードによる震災経験の継承			4	
(10) 社会学的視点その3: 伝建における障害者との共生・協働			4	
(11) 歴史学的視点その1: 西欧の歴史的建造物の復元・保存・利活用			4	
(12) 歴史学的視点その2: 西欧近代の歴史的建築と類型(A・ロッシ)			4	
(13) 歴史学的視点その3: 日本における都市景観論の射程			4	
(14) 実際の伝建地区における見学実習 その3			4	
(15) 実際の伝建地区における見学実習 その4			4	
自学自習時間合計			60	
キーワード				
教科書	なし			
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築史、現代建築論			
現学年の関連科目	まちづくり論、地域設計2			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
北関東の伝建地区の見学・調査を強く勧める。				
シラバス作成年月日	2015年2月3日			